

新型コロナウイルス禍の新たな試み

25期活動方針 - 主イエスのまなざしと出会う - 神さまに、隣人に、そして社会に仕える

喜び人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい

連盟会長 八木 久美 (むさしの教会)

COVID-19感染拡大という未曾有の事態が二年に亘り続き、先の25回連盟総・大会では、24期役員会・現地実行委員会の苦渋の決断のもと、総会は書面決議にて、礼拝・講演会はオンライン配信とする案を採択しました。こうして関係者の多くの協働と祈りを通して、極めて困難な状況下ながら25期の活動が開始されました。

私たちは目に見えない方を信じる一方で、目に見えないものに惑わされながらも、何が大切かを求めてきました。国内外の社会状況は、依然として困難であることを実感する日々であります。決して順風満帆な滑り出しではないからこそ、「主イエスのまなざしと出会う」恵みと喜びを求めて、副主題「神さまに、隣人に、そして社会に仕える」必要を覚えるのではないのでしょうか。

— 総会の承認を経て託された今期活動方針 —

- ▶ もっと社会に目を向けよう
- ▶ 年2回の「会報」と「ひびき」、ホームページ等による情報発信と共有
- ▶ 聖書研究によるみ言葉の学び
- ▶ 感謝献金による国内外への宣教と支援

新役員 ごあいさつ

◎ 副会長/書記 ● 徳弘 由美子 (岐阜教会)

連盟担当としてのお役を引き受けることになりました。「神さま、今ですか?! 帰国後間もない今の私の事情ではまだちょっと…」と祈る中で、全てに時があると気づかされました。コロナ禍でのスタートですが、神さまに委ねつつ三年間皆さまと一緒に歩んでいきたいと思っております。



▶ 就任式に続く第1回役員会@東京教会1階会議室

- ▶ 次世代への信仰継承と伝道教育の奉仕支援
 - ▶ 大きな災害に際して本教会に連帯するなど支援する
- 上記6項目を主軸に、女性会の協働は、SDGs(持続可能な開発目標)の根幹である「誰ひとり取り残さない」思いが内包されていることを改めて捉え直しながら、「変えられること、変えられないことを見極める目と耳と心」を祈りつつ主に求め、みなさまと活動してまいります。

…新しい三年の歩みが 神さまに、隣人に、そして社会に仕えながら、思いを寄せて共に喜び、共に泣き、主イエスのまなざしと出会う道程でありますように…



▶ 小勝牧師と25期 新役員: 廣瀬・立野・徳弘・八木(左から)

◎ 会計 ● ● ● 立野 照美 (広島教会)

今期、連盟の会計を担当させていただく事になりました。長い間女性会に参加していましたが、まさか連盟の役員になるなんて…が、今の正直な思いです。コロナ禍で始まった25期ですが、皆さまからの尊い捧げものを大切に活用していきます。三年間よろしくお祈りします。

◎ 広報 ● ● ● 廣瀬 美由紀 (長崎教会)

長い間、教会、教区、連盟…と広がるにつれて自分から遠くなっていく気がしていました。役員になって連盟が全国の会員をつないでいることが少しずつわかってきました。連盟をもっと身近に感じてもらえるような働きをしていきたいと思っています。

ハイブリッド型の取り組み:集会/配信による活動

7/2 役員就任式・役割引継/役員会 (一部Zoom)@東京教会

コロナ禍によるまん延防止等重点措置が施行中の東京教会を会場に、小勝奈保子牧師司式・松本義宣牧師立会のもと役員4名の就任式が執り行われました。Zoom配信/ハイブリッド開催により24期役員が見守る中、式次第の表紙(小勝牧師/作)には「2匹の魚と5つのパン」、「イエスと集う人々、弟子たち」が描かれており、こども讃美歌「わたしたちは さかなのよう。かみさまの あいのなかで およぐ」を賛美する時、幼子の心とイエスのまなざしと祝福を覚えながら、思いを新たにしました。



▶ 就任式次第・25期 新役員就任式@東京教会礼拝堂

6/8 総会/書面決議@東京教会→開票状況



▶ 書面表決書集計作業@東京教会1階会議室

まん延防止等重点措置施行中の東京教会1階会議室にて感染予防に留意して、立会人/松本牧師・小勝牧師と浅野聖子さん・松本奈美さん、中原通江24期会長、富里雪子・中原あゆみ両事務局員による開票が行われました。正議員数171名(教会正議員139名・連盟正議員32名)による返送総数/159枚(有効156、無効3)の議決結果が取り纏められ、各議案、新役員承認、第25期 主題と活動方針(案)が可決されました。詳細は第25回連盟総・大会報告書をご参照ください。24期役員のみなさまのお働きに深く感謝いたします。

6/9 講演会@健軍教会→YouTube配信

広島教会 西本 民子

6月9日、広島教会 マリア会では、礼拝堂に集い、YouTubeで配信される講演会を大型スクリーンでリアルタイムで見ることができました。参加者は、教会員も含めて11名でしたが、自宅で配信を見られた方も数名おられます。人生100年時代といわれて久しく時宜になかった講演内容でした。

日本人の平均寿命は女性87.74歳となり世界一です。男性は81.64歳で世界第2位。健康寿命は女性72.2歳。生きづらさを抱えても、年をとっても生き生きと生きてゆくにはどう過ごしていくか…。

支える側のハード・ソフト面、教会の役割、教会員の役割など考えさせられる講演でした。老人福祉法もルーテル教会から生まれたと興味深い話もありました。講演の後、参加者の感想の分かち合いも行い有意義な時間となりました。コロナ禍の中で大会に携わられた方々に感謝します。



下関教会 佐々木 待子

コロナ禍で新年を迎え、第25回総・大会開催も危惧され、暗いニュースが漂う中、潮谷義子さんを講師にお迎えし、信仰をもちつつ、第一線で活躍されている女性リーダーとして、私たちの「明日へ向けてのあゆみ」についてお話が聞けることに希望と活路を見いだせる指針になると、役員皆様方のご尽力に感謝した次第です。下関女性会も皆でこの恵みを分かち合えることを本当に楽しみにしていました。

実際、総・大会は初の書面決議となり、講演の行方を心配しましたがウェブ配信と知り安堵、当日下関教会は中島共生牧師にセッティングして頂き約10名の方々と視聴出来ました。ただ双方のWi-Fi送受信状況の不調で画面が静止することがあり、その間の内容が把握し難く残念でしたが、今後の課題として前向きに検討の余地があると感じました。講演は見逃した方へのアーカイブ録画、講演内容は配布されることを知り、連盟役員皆様方のご配慮に心から感謝申し上げます。